



就労継続支援事業所

いこいの家通信

毎月恒例の廃油石鹼づくり

NPO 法人結いの会：☎ 0980-84-1636

代表 大瀨守哲：☎ 090-8293-9462

メール：yuinokai@mco.ne.jp

HP『いこいの家』：http://yui-ikoi.com

BLOG『今日の八重山～いこいの家から～』：https://ikoinoie2.ti-da.net/

八重山精神療養者家族会『やらぶの会』

大切な人が病気になり障害を負ってしまうことの大変さや、利用できるサービスに対する疑問など、お互いの体験や思いを語り合うことで気持ちが随分と楽になります。同じ悩みを持つ家族同士で話してみませんか。お気軽にご参加ください。

毎月第3火曜日 15時半～

@結い心センター（石垣市福祉避難所）

5月27日午前、いこいの家にて廃油石鹼づくりが行われました。朝の朝礼体操を終え、ロビーに集まり作業開始。材料は食用油、水、苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）とシンブル。食用油は、石垣市給食センターから出た廃油を使用し、石鹼の型となる牛乳パックは八重山厚生園から引き取り再利用しています。環境にも配慮したこの石鹼づくりは、なんと1998年から約20年以上続く、同所恒例の作業なのだそうです。材料を全てバケツに入れて攪拌し、ところみがついたら、牛乳パックに流し入れます。固まるまで1ヶ月半～2ヶ月寝かせて完成です。

この日は、ベテランのNさんが中心となって作業を進め、石鹼づくり2回目だというKさんは「この石鹼で洗うと汚れがとて落ちます。普段は靴下の泥汚れやシミに使っています。なかなか落ちにくい油污れにも効果的です。泡切れもいいので、節水できてエコ活動にもつながります」とコメント。

同所の手洗い場、厨房、所内の床やト

イレ掃除などでも大活躍のこの石鹼は、島内のクリーニング店や自動車修理工場、タイヤ店などでも利用され、信頼の洗浄力です。ゆらていく市場でも固形・液体の2種類を販売中ですので、見かけたら是非手に取ってみてください。



完成した固形石鹼



同所で使われている液体石鹼



攪拌作業をするKさん



廃油を流し入れているところ